

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 100 号 2025 年春号

2025 年 3 月 1 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行  
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415  
<http://nadogaya-biotope.com/>

## 2024年度の総会開催です



2024 年度の総会を、名戸ヶ谷ふるさとセンターで 12 名の会員と、昨年に続き環境政策課の田口課長、武内主事にご出席を頂き開催しました。多くの会員からは委任状を頂いています。ありがとうございました。

ビオトープを育てる会の活動は 23 年目を迎えます。会員の稲作作業や草刈り作業時間も猛暑続きで 1 時間半程度が限度でした。名戸小の稲刈りは予定日、予備日共に気温が危険な状態で中止になりました。ビオトープに飛来するトンボや野鳥の種類も減少しています。生きものの生態、植物の植生も目に見えている以上に変わっていると思います。水田ビオ

トープの保全と併せて、本来のビオトープとして水生昆虫や水鳥の餌場となる池を確保し、学校や市民の自然観察の場とする対策も考えていく必要を感じています。会員の高齢化や温暖化の進行で労働力減少は更に厳しい状況になると想定されますが、環境政策課の協力も頂き、対策を講じて保全活動を継続していきます。会員の皆様には本年もご協力の程、宜しくお願いします。（小笠原 智）

2025 年 1 月現在の会員は 48 名（その内 14 名が家族会員で会員総数は 68 名）です。1 月には新たに家族会員が入会しています。

# ニホンアカガエル卵塊の観察会 ～中間報告～

例年1月下旬から2月にかけて観察会を実施してきましたが、2月中旬頃まで卵塊なしが続いたことから、今年は2月8日（土）から1週間毎に3月8日（土）まで5回を予定しました。

掲示板へは案内も掲示済です。下記にて中間報告をします。

・1回目、2月8日（土）気温4℃、会員のみ4名参加、冷え込みがきつく田んぼに氷が張り卵塊はゼロでした。カエルも縮こまっています。

・2回目、2月16日（日）気温10℃、月例活動日で会員15名参加、市民参加者なし。気温も高くなりましたが卵塊はゼロでした。看護

師寮側の草刈り中に、湿地でお腹の大きなメスのアカガエル成体1匹を見つけました。

・3回目、2月22日（土）気温5℃、会員6名参加、真冬並みの天気続き、当日も日のあたらない田んぼは氷が張っていました。やっとAゾーンで卵塊1個を観察し、北側のもち田No.3の畔ぎわです。田んぼでは、暖かな日差しの中をカルガモのつがいが見られました。又、小笠原さんがビオトープ敷地の井戸のそばで、モグラ1匹が死んでいるを見つけました。

残り3月2日（日）、3月8日（土）の2回です。  
(藤平 三郎)



アカガエル卵塊



卵塊を調査中



カルガモのつがい

# 月例活動状況の報告（12月から2月まで）

## 12月15日（日）

年末最後の活動日でビオトープ全域の大掃除を行いました。

ビオトープ入口の市道脇の草刈り、Aゾーンホタル水路周辺の草刈り、水路清掃、Bゾーン水道ポンプ周辺、木道沿いの草刈り、落葉の清掃などできれいになりました。そして、ビオトープ便り（冬季号）を配布し会員の手作り茶菓子をいただき歓談して今年を締めくくりました。



市道脇の草刈り



ホタル水路周辺の草刈り



井戸ポンプ周辺の草刈り



Bゾーン木道沿いの草刈り

## 1月19日（日）

晴れて冷え込みの厳しい日となり、田んぼには氷が張っていました。

今年最初の活動日で、二ホンアカガエル産卵場所の整備とホタル水路周辺の枯草の刈り取りを行いました。Aゾーン田んぼの溝堀り、Bゾーン三角池木道近くの産卵用池堀り。田んぼの溝堀りは、ぬかるみに足をとられながら一部が残りました。

又、会員に二ホンアカガエル卵塊観察会、2月8日（土）から5回の開催を話しました。



Aゾーン田んぼの溝堀り



ホタル水路周辺 草刈り



Bゾーン三角池木道近く 池堀り

## 2月16日（日）

寒さもやわらいで一気に春の陽気となりました。作業を始める前に2回目の二ホンアカガエル卵塊観察を行い結果はゼロでした。気温が高くなり次回が期待されます。

看護師寮側の草刈り中、湿地帯にお腹の大きなメスのアカガエル成体1匹を見つけました。作業はAゾーン看護師寮側一帯と休耕田の草刈り、Bゾーン木道沿いの草刈りです。草刈り機と草刈り鎌で予定したものを終えてきれいになりました。（藤平 三郎）



Aゾーン看護師寮側の草刈り



休耕田の草刈り



Bゾーン北側木道沿いの草刈り

# 2025 早春 ビオトープの近況写真報告



足洗い場の井戸  
ポンプ弁を更新



ニホンアカガエルの  
卵塊（今春2個目）



Bゾーンのヤナギを  
3本伐採



強風で飛ばされて  
作業場前で発見した  
小鳥の巣（メジロの  
巣と思われます）



作業場井戸前で  
寒さに凍えて  
死んだモグラ

前足の爪が凄いですね



市道デッキ脇で  
「ホトケノザ」と  
「オオイヌノフグリ」  
が開花



ザリガニ釣り場前でネコヤナギが開花



Bゾーン北側斜面で「河津桜」が開花

# ビオトープで再・新発見

**ゴイサギ**（五位鷺）【ペリカン目サギ科 全長 58～112 cm 元々は狩猟対象鳥獣→個体数減少で2022年に指定が解除された】

数年ぶりにビオトープ田んぼの畔端で幼鳥を発見しました。翌日以降には成鳥が来て餌を漁っていますが、警戒心が強く近づくと飛んで逃げます。

関東以南では留鳥ですが、北海道や東北では冬季に南下するようです。

幼鳥は褐色の羽毛で覆われ、黄褐色の斑点が入ります。成鳥になると上面は青みがかった暗灰色、下面は白い羽毛です。金魚や屋外飼育する魚などを餌にするので、害鳥で紹介されることが多いようです。『平家物語』の中で、醍醐天皇の宣旨に従い捕えられた為に正五位を与えられたという故事が和名の由来とこのことです。



畦で静かに獲物を探しているゴイサギ



畔パイプ上のイソヒヨドリ (オス)



こちらがヒヨドリです

**イソヒヨドリ**（磯鶇）【スズメ目ヒタキ科 体長 23 cmほど】

昨年からビオトープに飛来しています。外見がヒヨドリに似ていることからこの和名が付いていますが、鳥類学上ではヒヨドリ科ではなく別の科です。かつては磯など海岸周辺が生息地域でしたが1980年頃から内陸の地方都市で繁殖が確認され、2019年現在関東の大都市圏でも見受けられるようになりました。体色は雄が頭から喉、及び背部が暗青色、胸腹部が赤褐色、翼が黒です。メスは全身がうずら模様の茶褐色です。餌は甲殻類や昆虫類の肉食中心です。 (小笠原 智)

# 新入会員紹介

## ～荒井 聖（ひじり）さん・政憲さん・和政さん～

柏に引っ越して 10 年になります。荒井と申します。ビオトープを知ったのは、5～6年前に子供と一緒にザリガニ釣りに行ったことがきっかけでした。その時、昔懐かしい気持ちで親の私も童心に帰って楽しんでいました。今回、お米について学びたく会員にならせて頂きました。土・日は子供の習い事があり、参加できる日が少ないとは思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。



聖さんと和政さん（小学校3年生）

## 「名戸ヶ谷ビオトープの花 2023～24年版」です



「ビオトープの花写真集」表紙と見開き

会員の佐々木光正さんからはこれまでも「名戸ヶ谷ビオトープの花」の写真集を数年おきに頂戴していますが、先日2023～24年版の写真集を2冊受け取りました。ビオトープの植物の花は勿論ですが、会員の活動状況や名戸小、土小の活動写真も入っています。撮影技術が素晴らしく、すべての写真がとてもきれいで私も撮影の見本にしています。活動日には現地に置きますので是非手に取って観て下さい。

## 3～5月の活動予定

3月16日 定例活動日（稲株踏み：アカガエルの産卵遅れで延期有）

4月20日 定例活動日（田植え前の畔回りなどの草取り）

5月 5日・6日 田植え（名戸小の田植えは未定）

注）詳細の日時・作業内容はグループメールにて連絡します。

### 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車

面積：約 4,400 m<sup>2</sup> 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）